

第四期特定健康診査等実施計画

水産連合健康保険組合

最終更新日：令和 6 年 04 月 02 日

特定健康診査等実施計画（令和6年度～令和11年度）

背景・現状・基本的な考え方【第3期データヘルス計画書 STEP2から自動反映】			
No.1	がんの医療費は総額、一人当たりの額共に一番高く、他健保と比較しても一人当たり医療費はかなり高額であるため、早期発見・早期治療の必要がある	➡	人間ドック・家族健診によりがん検診の受診機会を提供する
No.2	生活習慣病の医療費は総額、一人当たりの額共に高く、他健保と比較しても一人当たり医療費が高いため、重症化を予防する必要がある	➡	生活習慣病関連疾患の重症化予防対策を実施する
No.3	前期高齢者納付金に影響する65歳以上の一人当たり医療費が高い	➡	前期高齢者に対する保健指導を実施する
No.4	特定保健指導では対象から外れる非肥満層についても保健指導や受診勧奨の基準値以上の者が多数存在し、放置すると将来医療費がかかるリスクがある	➡	非肥満層のリスク保有者も視野に入れた特定保健指導以外の保健指導を実施する
No.5	健診非受診者が多数存在し、健康リスクが可視化できない	➡	健診受診機会の改善と周知方法を検討する
No.6	特定保健指導実施率が低く、他健保と比較しても実施率や特定保健指導対象者の減少率が低いため、保健指導基準値以上の者が多数存在し、必要な介入ができていない	➡	特定保健指導の利用機会の改善と周知方法を検討する
No.7	レセプトや服薬がない受診勧奨値以上の高リスク者が存在している	➡	受診勧奨を行い、適切な治療につなげる
No.8	受診勧奨値以上でレセプトのある層に、適切な治療を継続しているか確認が必要	➡	受診状況の確認を行い、必要に応じて適切な受診・治療を受けるよう介入する
No.9	全組合集計と比べて、後発医薬品の使用割合は平均レベルである	➡	W E Bによる後発医薬品差額通知の活用

基本的な考え方（任意）	
-	

特定健診・特定保健指導の事業計画【第3期データヘルス計画書 STEP3から自動反映】

1 事業名
特定健診（被保険者）

対応する健康課題番号
No.5, No.2, No.3

事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：被保険者
方法	-
体制	-

事業目標

特定健診の受診者を増加させ、特定健診の受診率を向上させる							
評価指標	アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
	特定健診受診率(被保険者)	80.0 %	84.0 %	88.0 %	92.0 %	96.0 %	100.0 %
	アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
	受診者数	2,408 人	2,498 人	2,585 人	2,671 人	2,753 人	2,834 人

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度
事業主が行う定期健診と併せて共同実施	事業主が行う定期健診と併せて共同実施	事業主が行う定期健診と併せて共同実施
R9年度	R10年度	R11年度
事業主が行う定期健診と併せて共同実施	事業主が行う定期健診と併せて共同実施	事業主が行う定期健診と併せて共同実施

2 事業名
特定健診（被扶養者）

対応する健康課題番号
No.5, No.2, No.3

事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：被扶養者
方法	-
体制	-

事業目標

特定健診の受診者を増加させ、特定健診の受診率を向上させる							
評価指標	アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
	特定健診受診率(被扶養者)	25.4 %	29.4 %	33.5 %	37.4 %	41.5 %	45.4 %
	アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
	受診者数	30 人	35 人	40 人	45 人	50 人	55 人

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度
集合契約 A B で実施	集合契約 A B で実施	集合契約 A B で実施
R9年度	R10年度	R11年度
集合契約 A B で実施	集合契約 A B で実施	集合契約 A B で実施

3 事業名 特定保健指導

対応する
健康課題番号

No.6 , No.2



事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：基準該当者
方法	-
体制	-

事業目標

特定保健指導の実施者を増加させ、特定保健指導の実施率を向上させる

評価指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
アウトカム指標						
特定保健指導実施率	6.0 %	11.0 %	16.0 %	21.1 %	26.0 %	31.0 %
アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
実施者数	42 人	76 人	110 人	143 人	175 人	206 人

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度
スマートフォン等によるWEBや委託先を事業所に派遣したり、事業所が定期健診を依頼している健診機関に委託する等あらゆる手段で実施	スマートフォン等によるWEBや委託先を事業所に派遣したり、事業所が定期健診を依頼している健診機関に委託する等あらゆる手段で実施	スマートフォン等によるWEBや委託先を事業所に派遣したり、事業所が定期健診を依頼している健診機関に委託する等あらゆる手段で実施
R9年度	R10年度	R11年度
スマートフォン等によるWEBや委託先を事業所に派遣したり、事業所が定期健診を依頼している健診機関に委託する等あらゆる手段で実施	スマートフォン等によるWEBや委託先を事業所に派遣したり、事業所が定期健診を依頼している健診機関に委託する等あらゆる手段で実施	スマートフォン等によるWEBや委託先を事業所に派遣したり、事業所が定期健診を依頼している健診機関に委託する等あらゆる手段で実施

4 事業名 人間ドック

対応する
健康課題番号

No.1 , No.5 , No.2 , No.3



事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：18～74、対象者分類：加入者全員
方法	契約健診機関にて実施
体制	-

事業目標

人間ドックの受診者を増加させ、特定健診の受診率を向上させる

評価指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
アウトカム指標						
特定健診受診率	65.5 %	69.5 %	73.5 %	77.5 %	81.5 %	85.5 %
アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
受診者数	660 人	670 人	680 人	690 人	700 人	710 人

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度
一泊、日帰り、脳、肺の4種類の人間ドックを実施	一泊、日帰り、脳、肺の4種類の人間ドックを実施	一泊、日帰り、脳、肺の4種類の人間ドックを実施
R9年度	R10年度	R11年度
一泊、日帰り、脳、肺の4種類の人間ドックを実施	一泊、日帰り、脳、肺の4種類の人間ドックを実施	一泊、日帰り、脳、肺の4種類の人間ドックを実施

5 事業名 生活習慣病・胃健診

対応する
健康課題番号

No.1 , No.2 , No.3 , No.5



事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：18～74、対象者分類：被保険者
方法	本場・東部・北部の3市場にて実施
体制	-

事業目標

生活習慣病健診の受診者を増加させ、被保険者の特定健診の受診率を向上させる

評価指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
アウトカム指標						
特定健診受診率(被保険者)	80.0 %	84.0 %	88.0 %	92.0 %	96.0 %	100.0 %
アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
受診者数	1,480 人	1,490 人	1,500 人	1,510 人	1,520 人	1,530 人

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度
受診率向上のため検査項目の見直しを検討し、事業所に受診を呼びかける	受診率向上のため検査項目の見直しを検討し、事業所に受診を呼びかける	受診率向上のため検査項目の見直しを検討し、事業所に受診を呼びかける
R9年度	R10年度	R11年度
受診率向上のため検査項目の見直しを検討し、事業所に受診を呼びかける	受診率向上のため検査項目の見直しを検討し、事業所に受診を呼びかける	受診率向上のため検査項目の見直しを検討し、事業所に受診を呼びかける

6 事業名

家族健診

対応する
健康課題番号

No.1 , No.2 , No.3 , No.5



事業の概要

対象	対象事業所：全て, 性別：女性, 年齢：40～74, 対象者分類：被扶養者
方法	全国に会場を設置し、巡回健診車により実施
体制	-

事業目標

家族健診の受診者を増加させ、被扶養者の特定健診の受診率を向上させる							
アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	
特定健診受診率(被扶養者)	25.4 %	29.4 %	33.5 %	37.4 %	41.5 %	45.4 %	
アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	
受診者数	210 人	220 人	230 人	240 人	250 人	260 人	

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度
健診案内を対象者の自宅へ送付 申し込みが無い対象者への対策を検討	健診案内を対象者の自宅へ送付 申し込みが無い対象者への対策を検討	健診案内を対象者の自宅へ送付 申し込みが無い対象者への対策を検討
R9年度	R10年度	R11年度
健診案内を対象者の自宅へ送付 申し込みが無い対象者への対策を検討	健診案内を対象者の自宅へ送付 申し込みが無い対象者への対策を検討	健診案内を対象者の自宅へ送付 申し込みが無い対象者への対策を検討

達成しようとする目標／特定健康診査等の対象者数								
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
特定健康診査実施率	計画値 ※1	全体	2,685 / 4,100 = 65.5 %	2,815 / 4,051 = 69.5 %	2,941 / 4,002 = 73.5 %	3,064 / 3,954 = 77.5 %	3,184 / 3,907 = 81.5 %	3,300 / 3,860 = 85.5 %
		被保険者	2,408 / 3,010 = 80.0 %	2,498 / 2,974 = 84.0 %	2,585 / 2,938 = 88.0 %	2,671 / 2,903 = 92.0 %	2,753 / 2,868 = 96.0 %	2,834 / 2,834 = 100.0 %
		被扶養者 ※3	277 / 1,090 = 25.4 %	317 / 1,077 = 29.4 %	356 / 1,064 = 33.5 %	393 / 1,051 = 37.4 %	431 / 1,039 = 41.5 %	466 / 1,026 = 45.4 %
	実績値 ※1	全体	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		被保険者	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		被扶養者 ※3	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
特定保健指導実施率	計画値 ※2	全体	42 / 700 = 6.0 %	76 / 693 = 11.0 %	110 / 686 = 16.0 %	143 / 679 = 21.1 %	175 / 672 = 26.0 %	206 / 665 = 31.0 %
		動機付け支援	17 / 280 = 6.1 %	30 / 277 = 10.8 %	44 / 274 = 16.1 %	57 / 272 = 21.0 %	70 / 269 = 26.0 %	82 / 266 = 30.8 %
		積極的支援	25 / 420 = 6.0 %	46 / 416 = 11.1 %	66 / 412 = 16.0 %	86 / 407 = 21.1 %	105 / 403 = 26.1 %	124 / 399 = 31.1 %
	実績値 ※2	全体	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		動機付け支援	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		積極的支援	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %

※1) 特定健康診査の（実施者数）／（対象者数）

※2) 特定保健指導の（実施者数）／（対象者数）

※3) 特定健診の対象となる被扶養者数には、強制被扶養者、任意継続被扶養者、特例退職被扶養者、任意継続被保険者、特例退職被保険者を含めてください。

目標に対する考え方（任意）
-
特定健康診査等の実施方法（任意）
-
個人情報の保護
当健保組合は、水産連合健康保険組合個人情報保護管理規程を遵守する。 当健保組合及び委託された健診・保健指導機関は、業務によって知り得た情報を外部に漏らしてはならない。 当健保組合のデータ管理者は、常務理事とする。また、データの利用者は当健保組合職員に限る。 外部委託する場合は、データ利用の範囲・利用者等を契約書に明記することとする。
特定健康診査等実施計画の公表・周知
本計画の周知は、ホームページに掲載する。
その他（特定健康診査等実施計画の評価及び見直しの内容等）
-